



シールド機・セグメント内部

工事箇所及び見学会会場



説明会場にて
下水道の役割や工事概要、現場監督の仕事

下水道工事現場見学会（東部幹線）

- 1 日 時 平成18年9月11日(月) 午後100～午後240
- 2 場 所 岡崎市市場町地内
- 3 見 学 者 県立岡崎工業高校土木科(3年生39名 先生3名)
- 4 工 事 概 要 シールド工法 内径1000mm 延長14282m
- 5 見学会内容

- ・下水道の役割 (汚水管の整備)
- ・工事の概要説明 (パネル展示、ビデオ放映)
- ・工事現場の見学 (掘進機展示、立坑及び推進設備見学)
- ・講義 (現場監督の仕事、管渠の布設方法など)



間・小原特定建設工事共同企業体現場事務所

シールド機・工事の特徴

本工事はM1発進立坑からシールド機械を投入し、M2到達立坑へ向かって上り勾配で掘削します。非常に固い岩盤ですからシールド機械先端の掘削を行うための刃(ロービットと呼んでいます)がボロボロになります。掘削が出来なくなったら機械の中からロービットの交換を行います。(交換は8回を予定)

全長100m総重量25tの機体は、総推力1600kNの力がありジャッキ操作により自由に曲がりながら進むことができます。遠隔操作で目的地の名鉄山中駅付近まで、決められた曲がりくねったルートを進んでいきます。国道1号線の舞木西交差点では急曲線(R=20m)を描きながら、土被りは最大15.5m、平均でも10m近くあり、静かに深い地中を進みます。



地上設備前にて
加泥プラント、濁水処理プラント、脱水機



発進立坑内にて
バッテリーカーで管内に入る作業
セグメントを模擬的に組み付ける作業
などの説明



掘進機展示前にて
本物の掘進機や仮組みしたセグメント



防音ハウス前にて
土木技術者の卵たち 最後に集合写真を **パチリ**